

# 経済学者に騙されないための経済学入門 サブノート

## 第1章 経済学とはどんな学問か？

### 1-1 経済学とは何か

経済を対象とする学問。経済は英語では( )。国語辞典をみると「(国をどのように運営するのか、人々をどのように救うのか)の略語を明治時代に英語にあてはめたものと書いてあります。はじめて使ったのは、1万円札に描かれている( )。

### 経済学者による経済学の定義

ライオネル・ロビンズ (Lionel Robbins, 1898-1984) 経済学を定義した人として有名！

「経済学とは、( )的な利用可能性をもつ( )な手段と目的の関係としての人間行動を研究する科学である」(『経済学の本質と重要性』(1935年))

あまり現代的とは言えない。(環境問題など)

### 一般的な経済学の定義

モノ(財: )やサービス( )が、どのように生産され、販売されるのか、販売されて得られる所得が、どのように分配( )されるのか、人々は、所得から、どのように、モノやサービスを消費するのか、経済活動によってもたらされる国の豊かさをどのように評価し、どうしたら、それをより大きくすることができるのか、といったことを研究する学問。

モノ:( )のある商品 例 服 食べ物 自動車

サービス:( )のない商品 例 ( ) ( )

### 生産( )

生産を行なうのは企業( )。現代の代表的な企業は、株式会社。他には( )会社、( )会社など。違いは( )、責任が有限か、など。

株式会社を所有しているのは( )。

生産 利潤( ) ( )として( )に分配される。

経営者：株式会社の経営の最高意思決定機関は( )( Board of Directors )

### 自動車会社の生産についての意思決定

市場調査 生産計画 原材料の購入、工場など生産設備の購入、労働者の雇用  
( ) 生産費用を削減するためのシャシーの共通化など

### 分配( )

付加価値( ) = 収入(価格×生産量) - 生産に必要な費用

付加価値 ( ) (profit) + 賃金( )

## 例 コンビニ

コンビニの収入から費用を差し引いた付加価値は、アルバイトをしている山田君の賃金とコンビニ経営者の（ ）に分配されます。

消費（ ）

食事をしたり、服を買ったりすること。厳密な定義は、「現在の満足のために、財やサービスを使うこと」

効用（ ）: 消費者（ ）が消費することによって得られる満足。

消費者は限られた予算のなかで、効用を最大にするように消費を決定します。

## 1-2 経済学の「良いところ」と「悪いところ」

### 経済の特徴と重要性

(1) 経済は政治と違い、個人の力で短期間に変えることは不可能である。

例 旧ソ連の改革と解体（ ）という個人の果たした役割が大きい。

(2) 経済的に豊かになることは、「良いこと」である。

政治的な価値（ 、自由、 ）は、定義することすらむずかしい。

(3) 経済的行動は、(儲かるかどうかを基準にした)単純なものである。

他の条件が同じなら年収100万円よりも年収1000万円のほうが望ましい。

(4) カネは、( )とは無縁である。

国益( )って何? 経済学では個人の利益しか存在しない。

	経 済	政 治
個人の力・偶然性		
価値観		
ナショナリズム		
行動基準		
メカニズム		

図表 1-1-1 経済と政治の比較

### 経済学の特徴

(1) 論理的であり、仮定から結論の導出は( )と同じである。

(2) しっかりした学問体系が存在する。(政治学や社会学とは違う)

(3) 世界の共通言語(世界中のどの大学でも同じような講義が行われている。)

### ・エコノミストと経済学者

日本では、大学の教員を経済学者、大学以外の民間企業や政府機関などに所属し、経済について分析したり、コメントする人をエコノミストとよぶ。エコノミストの説明はわかりやすいが、間違っている場合も多い。



鉛筆を生産している企業を考えます。鉛筆の市場価格は、1本100円だとします。企業が鉛筆を生産する費用は、つぎの表のとおりです。この表からわかるように限られた生産設備を使用して、製品を生産するときには、製品1個当たりの生産費用は次第に高くなることが考えられます。製品をあと1個生産するときの費用を限界生産費用とよびますが、このような状況は、限界生産費用が逡増する（だんだん高くなる）といえます。

鉛筆の生産量	1本あたりの費用 (限界費用)
最初の10,000本	85円
つぎの10,000本	90円
つぎの10,000本	95円
つぎの10,000本	100円
つぎの10,000本	105円

図表 1-3-1 鉛筆の生産量と生産費用（限界費用）

このとき、企業は鉛筆を何本生産することによって、利潤を最大にできるでしょうか？ 答えを考えてください。

解答

このケースでは、市場価格（Price）= 限界費用（ ）となるように生産を行うと企業は利潤を最大にすることができます。

消費者（家計）

消費者は、かぎられた予算の範囲で自分の満足（経済学では、効用（Utility）とよぶ）を最大にするように行動すると考える。

練習問題 1-2

山田さんが居酒屋に行って1本400円のビールと1皿200円の枝豆を注文します。山田さんが、それから得る満足は、

山田さんの効用 = 飲んだビールの本数 × 食べた枝豆の皿の数

(U) (X) (Y)

で表されるとします。山田さんが4,000円もっているとき、山田さんは、効用を最大にするためには、ビールを何本、枝豆を何皿たのむでしょうか。

解答

4,000円で注文することができるビールと枝豆の組み合わせは、つぎの表のとおりです。

ビール (X)	枝豆 (Y)	効用 (U)
0		
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

図表 1-3-2 4,000円で購入できるビールと枝豆から得られる効用

市場

経済学では、商品の価格は、通常、需要と供給が等しくなるように、市場で決定されると考えます。つぎの練習問題を解いてみてください。

練習問題 1-3

ビールの供給量は  $10 \text{ 億本} + \text{ビールの価格} \times 0.1$  で表されるとします。これを供給関数と呼びます。一方ビールの需要量は  $100 \text{ 億本} - \text{ビールの価格} \times (1/8)$  だとします。これを需要関数と呼びます。このとき、ビールの価格、ビールの生産量はどのようになりますか。

解答

ビールの価格を  $p$  で表すことにします。またビールの需要量を  $D$ 、ビールの供給量を  $S$  とします。このとき、ビールの供給量と需要量は、それぞれ

$$D =$$

$$S =$$

と書けます。需要と供給が等しくなるように価格が決定されると考えると、 $D = S$  から、

が得られます。このようにして、需要関数と供給関数が与えられると価格と需要量 = 供給量を決定す

ることができます。

・マクロ経済学 (Macroeconomics 国民所得論)

いかにしたら景気をよくし、失業者を減らし、物価の上昇を抑えることができるのかという問題は、政府にとって重要な課題です。しかし、この問題を解くために、政策を行ったときの消費者すべての行動や企業すべての行動を考えることは不可能です。ではどうしたらいいのでしょうか。経済全体の国民所得、消費、投資、貯蓄、貨幣供給量、利子率、物価水準(これらをマクロ変数といいます)などのあいだにどのような関係があるのかがわかれば、政府は政策の効果を知ることができます。そのような分析方法がマクロ経済学です。

練習問題 1-4

経済全体の消費 ( $C$ ) を、国民所得 ( $Y$ ) の間につぎのような関係があるとします。この関係を消費関数と呼びます。

$$C = 0.5Y + 100$$

経済全体の需要は、消費 ( $C$ ) と投資 ( $I$ ) だとします。今、民間の投資が 50 兆円であり、政府の公共投資が 20 兆円であるとしましょう。消費関数が、上の通りなら、経済の国民所得は、どれだけでしょうか？ また政府が、公共投資を 30 兆円に増やしたら、国民所得はどれだけ増えますか。

解答

1-4 経済学は経済問題をどのように解決するのか？

このようなミクロ経済学やマクロ経済学は現実の経済とどのように関係しているのでしょうか。つぎにいくつかの現実の経済問題をとりあげて、それをどのように、経済学的に分析することができるのかを見ていきましょう。

・景気が悪いのは何故か？

景気が悪いのは、モノやサービスに対する需要が供給に比べて少ないということです。

なぜ需要が少ないか？

消費者：将来 ( ) が増えないと予測 消費を減らして ( ) を増やす

モノが売れない。

企業：将来（ ）が減ると予測（ ）(新しく生産設備を購入すること)を減らす  
（ ）が増えて労働者の所得が減少する。

結果として予測は実現する。

景気を良くするにはどうしたらいいか？

人々の（ ）を変化させる。

その方法

・（ ）を増加させることによって需要を増やしてやる。

・（ ）(日本銀行が民間銀行にお金を貸すときの利率)を下げて、企業がお金を借りやすくする。

・貿易収支の黒字はいいことで、赤字は悪いことか？

貿易収支 = 日本の（ ） - （ ）

国を個人と見るときには、輸出は収入、輸入は支出にあたると考えられるから、個人にとって収入が支出より多いのがいいのと同じように、国にとっても輸出が輸入を上回るのがいいことだという気がする。個人では、支出が収入を上回れば借金をすることになる。同様に、国も輸入が輸出を上回れば、（ ）(外国に対する借金)が累積していくこととなります。では、貿易収支は黒字なのが良くて、赤字は悪いことだろうか。

必ずしも悪いことではない(理由)

個人にとっても、支出が収入を上回るとは必ずしも悪いことではない。

例

国と個人の違い

外国に対する借金：

・環境問題はなぜうまく解決できないのか？

現在、世界は二酸化炭素などの温室ガスの排出による地球温暖化の脅威に直面しています。このまま放置しておくと地球の海面は2100年には、最大88cm上昇し、洪水や砂漠化などの被害をもたらすと考えられています。このような世界的規模の環境問題を解決するのに、経済学はどのような役に立つのでしょうか。

環境問題は、どうして市場メカニズムでうまく処理することができないのか？

市場メカニズム：経済主体(消費者や企業)が効用や利潤を最大にするように財やサービスの需要あるいは供給を決定し、市場が需要と供給が等しくなるように価格を調整する。その結果として、資源の最適な配分を達成される。

市場メカニズムがうまく機能しないことが存在する。「 」(Market Failure)

環境問題ではなぜ市場メカニズムがうまく機能しないか？

- ・
- ・

解決方法

- ・

## 1-5 経済学の歴史

古典派経済学（科学としての経済学の誕生） 18世紀 経済成長、富の源泉、所得分配を研究。

（ ）（ ，1723-1790）

スコットランドの哲学者、経済学者で、学問体系としての経済学を確立した人

『諸国民の富』（*Wealth of Nations*, 1776）

- ・分業によって生産力が増加し経済が成長する
- ・交換の必要性によって市場（Market）が発展する。
- ・市場における自由な競争によって最適な資源配分が達成される。

市場の需要と供給を調整し、最適な資源配分を達成する価格メカニズムをもっとも重要なものと捉え、それを「 」と呼びました。

（ ）（ ，1772-1823）

『経済学および課税の原理』（1817）で、スミスの分析を発展させ、より精密なものにした。

生産物がどのように生産要素を提供する階級に分配されるのか

生産要素	報酬	階級
土地		
資本		
労働		

図表 1-5-1 階級と生産要素、報酬

地代の理論（「差額地代理論」） 「 」の起源

「 」：「自由貿易が貿易に参加するすべての国に利益を与える」

（ ）（ ，1818-1883）

『資本論』（1867, 1885, 1894）

- ・資本主義の発展やそのメカニズムを考察
- ・利潤の源泉は労働の搾取によるものだという（ ）を提示。
- ・「 」：生産力の発展にしたがって、社会・経済システムがそれに対応するように変化し、奴隷制から封建制、さらに資本主義、社会主義へと発展していく。

## 限界学派（新古典派）

市場メカニズムや自由競争をより重視する立場から、経済主体（消費者や企業）の最適化行動とその結果として市場で実現される価格や生産量を通して経済を見る方法論が次第に経済学の主流になってきました。それが「限界学派」です。その創始者としては、

（                    ）（                    , 1834-1910 ）  
「                    」:、すべての市場で需要と供給が一致するような価格が存在する

（                    ）（                    , 1840-1921 ）

（                    ）（                    , 1835-1882 ）

「                    」: 効用最大化に基づく消費者の最適行動の分析

「                    」: 利潤最大化に基づく企業の最適行動の分析

パレート（Vilfredo Pareto, 1848-1923）、クラーク（J. B. Clark, 1847-1938）、

エッジワース（F. Y. Edgeworth, 1845-1926）

マーシャル（A. Marshall, 1842-1924）:

需要の価格弾力性、限界費用曲線など現在でも経済学で使われている多くの概念を考案

ドブリュー（G. Debreu, 1921-）: 「                    」存在を厳密に証明

## マクロ経済学

（                    ）（                    , 1883-1946 ）

マクロ経済学の誕生。

『雇用・利子および貨幣の一般理論』（1936）

どうして失業が存在するのかを理論的に明らかにした。

（                    ）法則\*を否定

\* 「供給は誰かの所得になるから、必ず需要になって結局、生産したものは売れる」

「                    」( Effective Demand Theory )

公共投資などによって需要を増やすことによって景気を良くすることができる。

ヒックス（J. R. Hicks, 1904-89）:（                    ）モデルとして定式化

カルドア（N. Kaldor, 1908-86）: 経済成長モデルに拡張

クライン（L. R. Klein, 1920-）: アメリカのマクロ経済モデル

（                    ）（                    , 1915-）: ミクロ経済学とマクロ経済学を総合

トービン（J. Tobin, 1918-2002）: 貨幣需要をモデル化

## 反ケインズ経済学（マネタリスト）

経済政策は効果をもたないし、経済は市場メカニズムに任せておくのがいい。

財政政策は短期的には、企業に自分の製品の価格だけが上昇したという錯覚を与えるので生産や雇用は増加するが、長期的にはこのような錯覚は修正され効果をもたない。

( ) ( , 1899-1992 )

(ミルトン・フルードマン)( M. Friedman, 1912- )

「 ( Rational Expectation )

人々が経済政策の効果を合理的に予測して行動すれば経済政策は短期的にも効果がない。

( ( R. E. Lucas, 1937- ) サージェント ( T. J. Sargent, 1943- )

背景となる哲学

	財政政策	金融政策	哲学
ケインジアン			
マネタリスト			

図表 1-5-2 ケインズ経済学とマネタリスト

例 学歴がないために満足な職につけず貧しい状況におかれている人

マネタリスト：その人は、子供のころに遊ぶことを勉強することよりも選択し、その結果として、十分な教育を受けることができなかったのだから、今の状態は本人の責任であり、救済する必要はない。

ケインジアン：学歴がないのは、両親が貧しかったり、周囲に学歴のある人が少なかったことによって勉強の重要性を本人が理解できなかったと考えます。そのときには、貧しい人に補助金などを支給すべき。

・現実の政治と経済学

	アメリカ	イギリス	日本
ケインジアン	( ) 党	( ) 党	自民党の一部 民主党 ( ) 党
マネタリスト	( ) 党	( ) 党	自民党の一部 自由党 ( ) 党

図表 1-5-3 各国の政党と経済政策